

ESHAP 療法

週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5
メチルプレドニゾン	500 mg/body	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド	40 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン	25 mg/m ²	→...	→	..	→ ..	→
シタラビン	2000 mg/m ²					↓

【注意】 * 初回投与時など腫瘍量が多い場合、尿量確保のため適宜補液を追加し、
キサンチンオキシダーゼ阻害薬内服を考慮する。

* シスプラチンはインフュージョンポンプを使用して4日間持続静注する。遮光すること。

* 治療中は、ステロイド点眼を行う。

* エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100mg を輸液 250mL 以上で溶解
(濃度 0.4mg/mL 以下の濃度になるように)し 30~60 分で点滴静注するのが望ましい。

また DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C 内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② メチルプレドニゾン注 500 mg + 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1 筒 ④の 30 分前 静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL 点滴静注 60 分
- ⑤ シスプラチン + 生食 適量 (全量 500mL) 24 時間持続点滴 (20mL/時間)

Day 2 - 3 アプレピタントカプセル(80 mg)1C 1×朝 内服

Day 2 - 4

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② メチルプレドニゾン注 500 mg + 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ グラニセトロン注 3mg 1 筒 ④の 30 分前 静注

ESHAP 療法

④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL 点滴静注 60 分

⑤ シスプラチン + 生食 適量（全量 500mL） 24 時間持続点滴（20mL/時間）

Day 5

① 生食 500mL で血管確保 維持（20mL/時間）

② メチルプレドニゾロン注 500 mg + 生食 100mL 点滴静注 30 分

③ グラニセトロン注 3mg 1 筒 ④の 30 分前 静注

④ シタラビン + 生食 350mL 点滴静注 120 分

*生食 150mL をバッグから前もって抜いておく

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾロン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時間	→	→	→	→	
シタラビン 開始時間					↓
確認					

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾロン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時間	→	→	→	→	
シタラビン 開始時間					↓
確認					

ESHAP 療法

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時間	→	→	→	→	
シタラビン 開始時間					↓
確認					

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時間	→	→	→	→	
シタラビン 開始時間					↓
確認					

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時間	→	→	→	→	
シタラビン 開始時間					↓
確認					